

事業報告書

第 17 期

自 2019 年 9 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 劇研

目次

特定非営利活動に係る事業

創造事業	・ ・ ・ ・ ・ 1
人材育成事業	・ ・ ・ ・ ・ 2
国際交流事業	・ ・ ・ ・ ・ 4
文化・芸術活動支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 4
文化・芸術を教育や児童青少年育成に活用する事業	・ 5
文化・芸術による地域のまちづくり事業	・ ・ ・ ・ 6

特定非営利活動に係る事業

創造事業	支出額 3,373,688 円
------	-----------------

1. 事業内容

シニア世代の表現活動促進を目的に舞台芸術作品の制作・上演を行った。

2. 活動実績

50才以上とするシニア世代のクラスの運営を継続。(劇研シニア劇団/高槻シニア劇団)

劇研シニア劇団星組・銀宴の企画運営(主な活動場所 左京西部いきいき市民活動センター 人間座スタジオ)

2019年 9月 1日から3月31日の期間での公演はなし。

シニア劇団「空いろ」 練習毎週金曜日(指導・演出:細見佳代)

公演:2019年10月第4回公演 『だいどころ 2019』構成・演出:細見佳代

会場:人間座スタジオ 観客動員数:106名(台風のため2・3ステージ目を中止 最終日に公開稽古を追加上演)

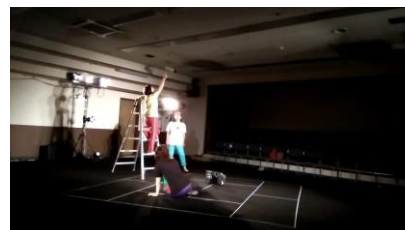
高槻シニア劇団3クラスの企画運営(主な活動場所 高槻現代劇場 富田ふれあい文化センター)

高槻シニア劇団「千年団」練習毎週火曜(指導・演出:小原延之)

公演:2019年11月高槻de演劇秋のプログラム(高槻現代劇場主催)

千年団 第1回公演「天井の人」脚本・演出:小原延之

会場:高槻現代劇場305号室 観客動員数287名



高槻シニア劇団「恍惚一座」練習毎週火曜(指導・演出:山口茜)

公演:2020年2月

恍惚一座 第7回公演「山々はもう、山でなく」脚本・演出=山口茜

会場:人間座スタジオ 観客動員数:93名



高槻シニア劇団「そよ風ペダル」練習毎週火曜(指導・演出:筒井潤)

公演:2020年2月

そよ風ペダル 第8回公演「はぐれ輪舞曲」脚本・演出:筒井潤

会場:高槻現代劇場中ホール 観客動員数194名



・ 活動総括(事業担当:杉山)

「シニア劇団」以外の創造事業については、劇場「アトリエ劇研」の閉館以降、作品を制作するための人的・物理的な体制が不十分なため本年度も見送ることとした。

・ 活動総括(シニア事業担当:梶川)

星組は鳥取大学でシニア演劇について研究されている五島朋子さんに興味を持っていただき、その紹介によってスコットランドでシニア演劇の活動をおこなっている劇団 Trick Hat との交流が始まった。これにともない、星組と空いろ2劇団の講師を務める細見さんのスケジュールの問題があり、二劇団を担当することが難しいため空いろは解散となり、劇団員は他のシニア劇団への移籍などの対応をした。高槻シニア劇団で活動する恍惚一座は高槻現代劇場の集会室から離れ、京都の人間座スタジオで公演することにより、舞台空間にこだわった作品作りをおこなった。シニア劇団恍惚一座としては、今回の公演をもって一区切りとして解散となり、講師の山口茜さんには年齢の制限のない劇研アクターズ・ラボの公演ク

ラスに移行して引き続き講師をお願いする。そよ風ペダルは特別公演ということで助成金交付を受け、公演場所をこれまでの現代劇場の集会室から中ホールに規模を拡大しての上演を実施した。残念ながらコロナウィルスの影響で動員は少なかつたものの、講師の筒井さんと劇団員の信頼関係も厚く、他に例を見ない魅力ある作品とり、お客様からこれまで以上の好評をいただいた。全てのシニア劇団は次回公演に向けての稽古を進めていたが、3月から新型コロナウイルス感染予防の対策のため活動を一時中断している。

人材育成事業	支出額 1,325,582 円
--------	-----------------

1. 事業概要

舞台芸術に関わる人材育成を目的に、各種のプログラム及び公演を実施した。

2. 活動実績

- ・ 演劇初心者、アマチュアの演劇愛好者を対象にした公演クラスの継続(京都2クラス/高槻1クラス)
- ・ 若手の才能、技術や意識の向上と活躍機会の拡大を目指すスキルアップクラスの実施
- ・ 「世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム」の修了者支援として「ユバチ公演 『優しい男』」の上演

- 劇研アクターズラボ・公演クラス 京都(主な活動場所 左京西部いきいき市民活動センター/人間座スタジオ)
演劇初心者、アマチュアの演劇愛好者を対象にした演劇クラス。1年間の練習を経て公演を実施する。

「劇研アクターズラボ+このしたやみ」クラス チーム名「そばえ」<指導：山口浩章（演出家）他>

毎週水曜実施 2017年6月スタート。

海外及び他都市公演を行うなど、従来の「講座」の枠を超えて積極的に活動。

2019年11月2日、3日 『友達』三重県津市 公演 会場：四天王寺スクエア
観客動員数 35名

2019年11月29日 『友達』 ポーランド ワルシャワ公演

2019年12月7日 『友達』 ポーランド ポズナン公演

第3期：2019年6月スタート 受講者 19名

第3回公演 2020年中『ヒネミ』上演を目指して稽古中

* 新型コロナウイルスの影響で2020年5月上演予定を延期



「劇研アクターズラボ+村上慎太郎」クラス チーム名「未定」<指導：村上慎太郎（劇作家・演出家）>

2020年1月スタート 参加者 9名

コロナウィルスの影響で3月より休講、再スタートは2021年3月を予定。

- 劇研アクターズラボ・公演クラス高槻(主な活動場所 高槻現代劇場
- <大阪府高槻市>



「劇研アクターズラボ+伊藤拓也 チーム名「未定」<指導：伊藤拓也（演出家）>

毎週火曜日開講 受講者 9 名

2019 年 12 月スタート

2019 年 11 月に高槻現代劇場 305 号室で行われた、「新進演出家短編作品上演会」において、4 名の演出家作品の中から観客投票 1 位となった伊藤拓也さんによる、新クラス。2020 年 11 月の公演を目指して稽古開始するも、コロナウイルスの影響で 3 月から休講。公演も 2021 年 2 月に延期。

■ アクターズラボ・スキルアップクラス

『舞台俳優のためのヨガワークショップ』<講師：筒井加寿子>

舞台俳優のための身体ケアに関する講座を開講。2019 年 11 月～2020 年 3 月 3 回 1 セット、4 セット開講。総参加者数 19 名 会場：左京東部いきいき市民活動センター



『優しい男』 公演

「世界に視野を開く、地域の演劇リーダー育成事業」出身者によるユニット「ユバチ」の第 4 回公演『優しい男』を実施。

2019 年 9 月 23 日、24 日 会場：アバンギルド 2 回公演 観客動員数 52 名



■ 活動総括（事業担当：杉山準）

演劇の裾野拡大と技術向上を目的に京都と高槻で実施している「公演クラス」はクラス拡大とともに、旅公演など活動の幅を広げる活動が生まれ、充実が図られた。コロナウイルス感染防止のため 3 月以降は活動を休止しているが、状況を見て慎重に再開時期を探っている。劇団「このしたやみ」によるクラスは劇研アクターズラボとして初めて海外公演を行うなど、従来の枠にとらわれない活動を展開し、作品の質も高めている。高槻で開催している劇研アクターズラボ公演クラスは、「新進演出家短編作品上演会」を経て最多の観客支持を得た伊藤拓也氏の新クラスを開講することができた。また、京都でシニア劇団を指導していた、村上慎太郎氏と高槻で同じくシニア劇団を指導していた山口茜さん、高杉征司氏のシニア劇団見直しに伴い、劇研アクターズラボ公演クラスに鞍替えして新クラスを発足。（山口氏、高杉氏はラボ+サファリ P クラスとして 2020 年 4 月開講の予定で募集をかけていたが、コロナウイルスの影響で翌年開講に延期となった）

『世界に視野を開く、地域の演劇リーダー育成プログラム』を卒業した小倉笑が中心となり、『優しい男』を上演した。さらなる作品の発表と、今後の活躍を期待したい。また、かつて実施されたことがなかった、舞台俳優の身体メンテナンスに関わる講座「舞台俳優のためのヨガワークショップ」を開講した。小人数限定の講座であったが、参加者の評判は上々で、指導者による独自事業として継続を図る予定。

国際交流事業	支出額 3,956,095 円
--------	-----------------

1. 事業概要

『日ポ国交樹立 100 年記念文化交流事業 文化大使 ポーランドにおける日本演劇祭』

として舞台芸術を通じた国際交流を目的に、国内 5 チームがポーランド公演を行った。

2. 活動実績

ポーランドのワルシャワ市およびポズナンの二都市で 5 つの団体（そばえ、このしたやみ、第七劇場、シアターX、オフィス KAJA）による、舞台作品を計 10 回上演する。また、ポズナンではポズナン大学で開かれるパフォーマンス学会「言葉・音・姿」で講演を行った。

2019 年 11 月 25 日、日本発

ワルシャワ公演 2019 年 11 月 27 日-12 月 1 日 ポズナン公演 2019 年 12 月 3 日-12 月 8 日

＊ 2019 年 12 月 10 日、帰国 12 月 13 日総括、報告会

助成：日本万国博覧会基金事業助成

■ 活動総括（事業担当：杉山準）

そばえを指導していただいている、山口浩章氏の力を借り、そばえを含めた 5 劇団のポーランド公演を実施できたことは、得難い体験となった。非常に暖かく迎えられ、評判も上々であったようで、大変意義深いものとなった。ポーランドはグロトフスキーに代表される演劇の先進地の一つであり、同国との交流は当法人としても初めてであり、交流の発展を期待したい。



文化・芸術活動支援事業	支出額 2,368,735 円
-------------	-----------------

1. 事業概要

舞台スタッフやプロデュースなど専門家の派遣や演劇プログラムの企画・実施等を請け負う。

2. 活動実績

- ・ 近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻への高所作業指導員の派遣。年間複数回実施。
- ・ 公益財団法人高槻市文化振興事業団が行う、高槻現代劇場の演劇プログラムの受託。

■ 公益財団法人高槻市文化振興事業団の委託を受けて、『高槻 de 演劇』と題する高槻現代劇場（高槻市）の主催事業を実施した。

『高槻 de 演劇秋のプログラム』2019 年 10 月～11 月会場：高槻現代劇場 305 号室他

<実施プログラム>

① 劇団 水曜の家族 第 5 回公演 音楽劇 『新しい社会のレッスン』

脚本・演出：村上慎太郎（夕暮れ社 弱男ユニット）2019 年 10 月 26 日（土）14:00/19:00 27 日（日）11:00 観客動員数：187 名

② 新進演出家短編作品上演会

2019 年 10 月 29 日（火）、30 日（水）、31 日（木）

出品演出家：浅川水音、伊藤拓也、出井 友加里、繁澤邦明 観客動員数：136 名



③ 高槻シニア劇団千年団 第1回公演 『天井のひと』

脚本・演出:小原延之

2019年11月3日(日・祝) 11:00/17:00 4日(月・休) 14:00

観客動員数:287名

文化・芸術を教育や児童青少年育成に活用する事業	支出額 66,035円
-------------------------	-------------

1. 事業概要

舞台芸術の表現の魅力を伝えるとともに、その表現や演技の力を社会に活かす活動を実施する。

2. 活動実績

演劇の手法を用いて学校での授業を実施。

高槻市立第十中学校 2019年9月30日(月) 16:00~17:15

高槻市文化振興事業団の依頼を受けて演劇の授業を行った。今年度もアシスタントとして、人材育成事業を受講していたメンバーを加えておこなった。

■ 活動総括(事業担当:杉山準)

授業の一環で小・中学校で演劇にまつわるワークショップを行う事業も、9年目を終え指導のスキルだけでなく、なぜこうした授業が必要なのか、子供たちにとってそれはどのような意義があるのかがつかめてきている。次年度以降はそうしたノウハウをより広く活かせるよう、新たな指導者の育成を行うとともに、規模の拡大に努めていきたい。

1. 事業概要

文化・芸術を活用した手法を用いて地域のまちづくり、市民活動の活性化、地域振興に資する事業を実施する。

2. 活動実績

・京都市左京西部いきいき市民活動センターおよび左京東部いきいき市民活動センターの管理・運営および高齢者ふれあいサロンの管理運営と市民活動、地域活性化に関わる事業の実施。建物の維持管理を行うとともに、会議室を、文化事業を始めとする市民活動に貸し出し、市内 13 センターの中でも有数の高い稼働率で運営を行った。

・高齢者福祉やまちづくりに資する以下の「市民活動活性化事業」を京都市の委託事業として実施した。

<左京西部>*主な主催事業

高齢者への食事支援を通じた居場所作り事業

月一回程度、地域の特に独居の高齢者の食事支援、交流の場を作り、地域の助け合いを育んだ。

開催日時 2019 年 4 月から 2020 年 2 月までの第 4 水曜日 11:30～13:30

参加人数 毎月 20 人前後



<左京東部>*年度内に行われた主催事業

・地域活動の担い手育成プロジェクト 『盆踊り練習会とさきょう音楽会』

・マクリン幼稚園で出張演奏会とワークショップをセンターの利用者である、カボエラアンゴラさんとともに行った。

2020 年 2 月 14 日（金）10:00～11:00(マクリン幼稚園)出演&ワークショップ

参加人数 30 名

多文化共生促進事業『多文化共生について日本語で話そう』第 3 回

2 月開催を計画：コロナウイルス感染拡大防止のため中止

創造力・観察力・コミュニケーション力を養う子供向けワークショップを開発する事業

3 月開催を予定するも、コロナウイルスの関係で中止